高齢化社会における寡分割緩和照射の有用性と課題

当院の研究責任者 （所属）	村上　恵理 （NHO栃木医療センター　放射線科）
他の研究機関および 各施設の研究責任者	白井　克幸 （自治医科大学附属病院　放射線科　教授）
本研究の目的	高齢のがん患者さんの中には、体力や持病のために長期間の治療が難しい方もいらっしゃいます。そこで、2日間という短い期間で行える「クワッドショット」と呼ばれる放射線治療が注目されています。この研究では、当院で過去にクワッドショット治療を受けた方の診療記録を見直し、実際にどのような効果があったか、副作用はどうだったか、治療後に体調や生活がどう変化したかなどを調べて、今後の治療に役立てることを目的としています。
研究期間ならびに 研究対象となる期間	研究期間：許可日から2027年3月31日 調査対象期間：2020年4月1日～2025年3月31日
研究の方法 （使用する試料等）	●対象患者 上記調査対象期間内にNHO栃木医療センター放射線科で「クワッドショット治療」による放射線治療を受けた65歳以上の方 ●利用する情報 電子カルテおよび放射線治療部門システムに記載のある診療記録
試料/情報の 他の研究機関への提供	多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ提供します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究への診療情報提供を希望されない方は、下記までご連絡ください。 電話：028-622-5241（代） 担当者：村上　恵理（NHO栃木医療センター　放射線科　医長）